



おにぎり

Rice Balls

ポスターのイメージに採用されたモチーフは、私たちのエネルギーにもなる「おにぎり」。誰でも知っていて、でも地域、家庭、作り手によって多種多様という特徴が、私たちが目指すD&Iを象徴しています。

The symbol used for the poster is the "onigiri," a rice ball that is also our source of energy. It is known to everyone, and the variety of characteristics, depending on the region, family, and producer, symbolize the D&I that we are striving for.

一人ひとりの行動の指針になるものを To indicate what each person should do

「誰も読まない報告書、でないものを作りたい」との当時の委員長の発案で検討が始まった行動宣言。まだオンライン会議が一般的ではなかった頃に、メンバーが隙間時間を見つけて土木会館の打ち合わせコーナーに集まって練り上げました。コンパクトにすっきりとまとまっていること、でも根拠が明確であること、そして誰が何をすべきかを明確に示していることが特徴です。2015年5月に理事会での承認を得て公表しました。

Discussion on the Action Statement was initiated by the then chairman of the committee, who said, "we should not create a report that no one will read." At the time when online meetings were not yet common, the members gathered in the meeting corner of the JSCE Hall to comprehend the document. It is characterized by being compact, but with clear evidence, and by indicating who should do what. It was approved by the Board of Directors and published in May 2015.



土木D&I2.0は、土木学会5か年計画JSCE2020-2024の中期重点目標に基づく4つのプロジェクトのうちの1つです。
Civil Engineers' D&I 2.0 is one of four projects to promote JSCE 2020-2024, the JSCE's Five-Year Plan.

土木学会 ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会
JSCE Diversity and Inclusion Promotion Committee

<https://committees.jsce.or.jp/diversity/>

2024年3月1日発行 / March 1st, 2024

編集: アトリエ言景



土木 D&I 2.0

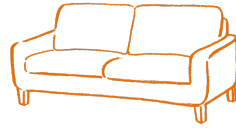
Civil Engineers' D&I 2.0

ステップアップのための場とツールをつくる
Creating Places and Tools to Realize

Vol.4 土木学会D&I行動宣言
Vol. 4 JSCE D&I Action Statement

土木学会D&I行動宣言(2015)と土木学会のD&Iのこれまで

JSCE D&I Action Statement (2015) and our efforts in D&I



土木学会D&I行動宣言とは What is JSCE D&I Action Statement?

2015年5月、土木学会は土木界の更なるダイバーシティの推進を目指し、「土木学会D&I行動宣言」を策定しました。前年の「社会と土木の100年ビジョン」を受けて、「認める」「活かす」「育てる」の3つの柱によってD&Iの推進をしようと呼びかけるものです。

In line with the 100-year Vision on Civil Engineering and Society issued in 2014, JSCE formulated the D&I Action Statement in May 2015 to further promote diversity in the community of civil engineering. Various activities are to be carried out in line under the three pillars of “Acceptance,” “Enhancement,” and “Development”.

主体別の役割 Role of each players

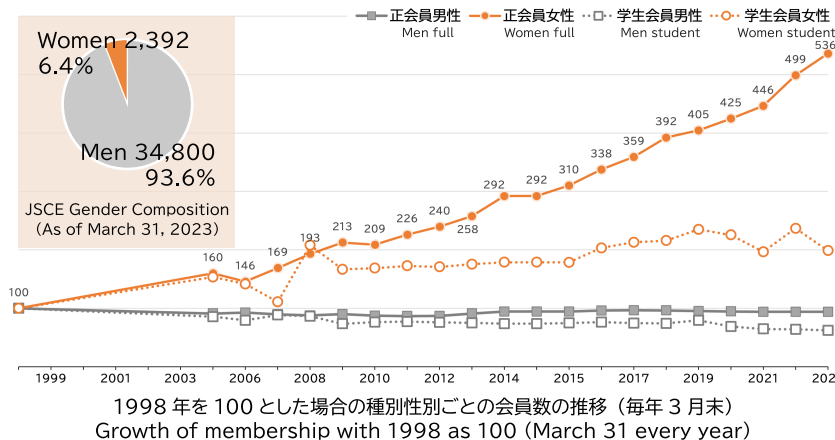
土木学会は、D&Iを率先して実行し、土木界全体を牽引します。土木界は、産官学それぞれに、人材の確保や育成、情報発信においてD&Iを取り入れます。そして、学会員一人ひとりが、この行動宣言に基づき、あらゆる場面においてD&Iの推進に努めることが期待されています。

JSCE takes the initiative in implementing D&I and leading the entire civil engineering community. The community, in industry, government, and academia, will each be aware of D&I in their recruitment, training, and information dissemination. Each member of JSCE is expected to promote D&I in all aspects based on the Action Statement.

会員の多様性をめぐる動向 Trends in membership diversity

土木学会が多様性を議論しはじめて以来20年近く。女性の正会員数は若年層を中心に右肩上がりが続いています。いろいろな価値観を持つ人が活躍できる環境の整備が重要課題となっています。

Over the past decades, the number of women members has continued to rise steadily, especially among younger age groups. With the expectation of a more inclusive environment, promoting D&I remains a crucial issue.



行動宣言3つの柱 3 pillars of the Action Statement

1. 認める / Acceptance

多様性を尊重し、ちがいを認め合う
Respect diversity and recognize differences

- 性別、年齢、国籍、技術分野、職種、発想、価値観
- 土木技術者、社会基盤のユーザー、国民などあらゆるステークホルダーの存在意義や活動
- 風土、歴史、気質、文化など地域の特徴

2. 活かす / Enhancement

多様性を活かし、土木を通じて社会に貢献する
Valuing diversity to contribute to society through civil engineering

- 多様な人材の登用
- 構成員の多様な能力を引き出し活用すること
- a、b をあらゆる層に浸透、実践させるためのマネジメントの継続
- 構成員の多様性への配慮
- 地域のちがいや特性を活かした豊かな地域づくり

3. 育てる / Development

人材や組織を育て、魅力ある土木界をつくる
Develop human resources and organizations to create an attractive community

- 構成員一人ひとりの多様なキャリアデザイン
- 能力や貢献に応じた公平・公正な機会提供、処遇の人材活用の推進
- 安全で健康的な労働環境、育児・介護等個々の事情を支援する労働環境の整備
- ワークライフバランスに配慮した多様な働き方（テレワーク、フレックスタイム）の仕組みの拡大
- 多様な組織体が技術力を発揮し、主体的に取り組むことができるための仕組みづくり

これまでの土木学会の道のり History of JSCE's D&I efforts to date

- 1980 ★ 1982 小特集「女性土木技術者登場」
★ 1983 土木技術者女性の会創立
- 1990 ★ 1996 別冊増刊「土木と女性技術者」
- 2000
- 2004 ジェンダー問題検討特別小委員会発足
座談会：女性技術者の使命
- 2005 初の女性理事
【研】 CSR と男女共同参画の実現
- 2006 【研】 土木はおもしろい！私が土木技術者になった理由
学協会連絡会オブザーバー加盟
- 2007 【研】 考えよう！土木技術者のワークライフバランス
- 2008 男女共同参画小委員会 全国大会での一時保育
【研】 ダイバーシティ・マネジメントを土木業界から始めよう
- 2009 【F】 建設分野における女性活躍支援ネットワーク
女子中高生夏の学校支援
- 2010 ダイバーシティ推進小委員会発足
【F】 誰もが働き続けられる業界を目指して
- 2011 【F】 本音で話そう！ダイバーシティ推進の現状と課題
- 2012 Lunch Cafe D.D.
- 2013 【F】 多様な土木技術者の多様な挑戦
- 2014 ダイバーシティ推進委員会に昇格
女性委員登用支援
- 2015 【研】 待ったなし！土木界のダイバーシティ&インクルージョン
- 2016 共通セッション「ダイバーシティ&インクルージョン」開始
- 2017 ダイバーシティ・アンド・インクルージョン (D&I) 推進委員会に改称
【研】 「DIVERSITYの視点から見直そう！土木計画学における研究と教育」(主催：土木計画学研究委員会)
- 2018 土木学会 D&I ウィーク
- 2019 土木学会 D&I ウィーク 2019
- 2020 JSCE2020 プロジェクト「土木 D&I2.0」
女性技能者の坑内労働規制緩和に関する公開討論会
- 2021 【研】 土木 D&I 2.0：考えよう、ルーツの多様性で土木界を元気に
- 2022 ★ 特集「Ally へ繋がる途」
- 2023 女性理事 2 名に
初の女性次期会長
- 2024

★：土木学会誌における関連特集
【研】：全国大会における研究討論会
【F】：ダイバーシティ推進フォーラム